ふわふわだより

令和８年度　１０月号
社会福祉法人中央福祉会
げんきな森中央保育園
すみれ組

朝晩は涼しい風も吹き、少しずつ秋の訪れを感じるようになりました。

夏の間、暑くて戸外遊びができなかったのですが、９月になり、日差しが柔らかくなってきたので、園庭に出て遊ぶ機会が増えました。夏前は、外遊びが苦手で「抱っこ～」と泣いていたお友だちも、今では大好きな靴を履いて、園庭を隅々まで探索しています。台車を押してお散歩したり、バイクに乗り、進もうと奮闘する姿も見られます。「さぁお外に行こうかな」というと、帽子を指差し、ドアの前でスタンバイＯＫ！保育者がドアを開けるのを、我先に出ようとワクワクしながら待っている、外遊び大好きなすみれ組さんです。

今月も、秋の自然の心地よさを十分に感じながら、伸び伸びと体を動かして過ごしたいと思います。

今月のねらい

・体調や気温に合わせ、衣服を調節し、快適に過ごせるようにする。
・身近な保育者に喃語を発したり指差しをして、気持ちを表現しようとする。
・見守られている安心感の中で、好きな遊びを楽しんだり、秋の自然に触れながら探索活動を楽しんだりする。

今月のうた

♪どんぐりころころ
♪おおきなくりのきのしたで

今月の絵本

・ねてるのだーれだ
・おいも！

☆一緒にあそぼ☆

入園して数か月。入園したての頃は、自分一人で遊んだり、保育者と遊んだりしていたのですが、毎日一緒に過ごす中で、だんだんと「お友だち」の存在に気づき、少しずつ関わり始めました。

今では、お友だちが泣いていたら頭を撫でてあげたり、「A ちゃんにどうぞしてくれる？」とお願いすると、そのお友だちに渡してくれたり、お昼寝の時間にはトントンしてあげたり…。一人が絵本を読んでいると、他のお友だちも集まってきて、近くで座って絵本を広げたり、積み木をしていたら一緒に積み上げる等、様々な姿が見られます。

同じもので遊びたくて、取り合いになったりすることもありますが、それも関わりが増えてきた証拠。大切な成長の過程です。みんなの成長を見守りながら、たくさん遊んで元気に過ごしたいと思います。

（お友だちと関わって遊ぶ事が多くなったので、怪我をしない・させないために、爪はこまめに切りましょう。）







9月のようす



みんなで絵本タイム











靴を自分で脱ごうとしているよ



絵の具の感触あそび